



美山中学校だより



優しさそのままに、より高い理想を求める夏休み・2学期に

猛暑の梅雨、梅雨明け後の連日の雨模様と、どこかちぐはぐな天候の今年の夏です。熱中症リスクが高まる猛暑は困るものの、やはり夏らしい日差しの下で子どもたちには活動させたいと感じています。日頃は、本校の教育活動に、格別のご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。



さて、「可能性にチャレンジ 少人数を言い訳にしない」をテーマにスタートした今年度ですが、早くも1学期が終わりました。この間、様々な“3年ぶり”の行事を開催・参加することができ、多くの経験と学びがあった1学期間でした。子どもたちの様子を見ていて心に残ったのは、仲間に対する配慮や優しさと素直さです。それぞれの校外行事等において、戸惑いや不安を抱く仲間に、優しい声かけや心遣いでサポートする姿が印象的でした。また、文化庁の文化体験事業で開催した『めばえ寄席』では、積極的に参加したり、演目を楽しんだりする姿に、寄席の方からは「こんなに純粋に楽しんでもらえる学校は珍しいです。素直な生徒さんばかりなんですね。」とたいへん喜ばしい言葉をいただきました。

陸上大会や部活動の大会、各種のコンクール等にも前向きに取り組みましたが、夏休み、そして2学期には、さらにチャレンジする姿勢で、よりよい自分を求め高まってほしいと思います。既に、体育祭や文化祭のリーダーや各役割も決定し、その準備は始まっています。様々な取組に目標を持って臨むことを通して、集団として個人として成長することが楽しみです。



夏です。口丹総体です！

7月15日(金)口丹総体(口丹大会)・府陸上大会壮行会が生徒会主催で開催され、大会に出場する部やメンバーに対してエールが送られました。とは言え、ほとんどの生徒が出場メンバーであり、互いを激励し合う会となりました。それぞれの主将と1年生女子100mで府陸上大会に出場を決めている大下希実さんから意気込みや決意が述べられました。



会場の関係もあり、近年は夏休みを待たずに大会が開催され、剣道大会は16日に終了しました。男子団体は準優勝、男子個人で中島桜太郎君が3位となり府大会出場を決めています。

大会に臨むそれぞれの目標に向け、悔いのない大会にして、これも成長の機会にしてくれることを願っています。

1学期の学びを交流 『アンビシャスタイム』

終業式の前日7月19日(火)に恒例のアンビシャスタイムを開催しました。リモートで開催したこともありましたが、今回は体育館で実施し、それぞれの学びを直接発表し共有しました。この取組を通して、学びの追体験や共感、伝える力を高めることをねらいとしています。



今回は、大型連休中の体験をまとめた作文の発表、1年生の芦生フィールドワーク、2年生の京都市内班別研修、3年生の修学旅行について発表しました。

作文発表では5名の生徒がそれぞれ、祖母とよもぎ餅を作ったこと、お手伝いとして草引きに取り組んだこと、二人で苗箱1000箱を洗ったこと、作文にまとめることの難しさ考えたこと、部活動の練習試合を通じて課題を見つけたことをそれぞれの文章表現で朗読しました。



1年生は、事前学習を行い、各班がテーマをもってフィールドワークに参加し、学んできたことを写真を交えて発表しました。そのテーマは、木地師の生活や歴史、芦生杉の伏条更新や希少種の植物等でたいへん興味深い発表を聞かせてくれました。

2年生は、班別研修で訪れた見学場所について、班ごとに1カ所に絞って詳しく発表しました。動物園を発表した班は、象の行動特性などを紹介したり、平安神宮を発表した班は、ハナショウブについて紹介したりしました。ピンク色のハナショウブがあることを初めて知りました。



3年生は、修学旅行で学んだことについて、全員が学級でプレゼンを行い、今回はその代表3名が発表しました。やはり、行程の中で初日に訪れた広島が強く印象に残ったようで、被爆体験者の講話や広島平和記念資料館の見学を通じて学んだことを発表しました。戦争や核兵器が及ぼす影響、平和のために若者がすべきことについて熱く語りました。「平和とは勉強できる日常」という言葉に、深い学びがあったことを感じました。



今回はほとんどの生徒が、発表する立場、聞く立場で参加し、それぞれの学びに触れ、共感・共有する有意義な時間になりました。

作品紹介(2年生美術科) スプーンに映った自画像



今井 このは さん



長野 うた さん



森 日鞠 さん



外田 健一 君